

# 会社が倒産した場合の実務経歴書および実務経歴証明書の書き方

建築実務を行った会社がすでに倒産している場合、通常提出しなければならない書類の他に、当該会社に所属していたことを証する書類（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）を提出してください。また、実務経歴書及び実務経歴証明書に倒産した旨を記入する必要があります。

## 1) 実務経歴書について

実務経歴書の記入方法については、実務経歴書の2枚目の下の余白部分に、申請者は会社が倒産した旨を記入します。

### 実務経歴書 記入例

対象物件の名称等	2枚目		建築実務経験期間		
	年月～年月	建築実務の割合	年月数		
(7)		年 月～ 年 月	%	年 月	
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に)			用途・構造・規模・担当業務 等)		
[ ]					
※ 経由(機関)記載欄		※ 登録機関記載欄			

上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、令和〇年〇月〇日に倒産した。

【記入注意】  
 1 この実務経歴書は、勤務先(自営業を含む。)ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。  
 2 建築実務経験期間欄は、在職中に建築関係の業務を行った年数を記入してください。在職中に土木関係と建築関係の業務を同時に行った

**【記入例】**  
 上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。  
 ※倒産した日付が不明の場合、日付は記入不要。

## 2) 実務経歴証明書について

実務経歴証明書の記入については、実務経歴証明書の下の余白部分に、申請者は会社が倒産した旨を記入します。

### 実務経歴証明書の記入例

実務経歴証明書	
新潟県指定登録機関 公益社団法人 新潟県建築士会長 様	令和3年1月4日
証明者(署名) 株式会社〇〇建築設計事務所	
住所又は所在地 新潟県〇〇市〇町〇丁目〇番地 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
免許申請者との関係	
下記の者が申請した 2級 建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。	
記	
1. 免許申請者の氏名 <b>建築 太郎</b>	
2. 建築実務経験 建築実務経験期間の合計: <b>2年 1月</b> 建築実務の内容: <ul style="list-style-type: none"> <li>○邸(木造2階建て住宅、延べ面積〇㎡)新築工事にて大工工事の施工管理を担当</li> <li>◆邸(木造2階建て住宅)のリビング〇㎡の改修工事、居室〇㎡の増築工事にて大工工事の施工管理を担当</li> <li>△地区建売住宅(木造2階建て住宅、延べ面積〇㎡)新築工事の基本設計業務の〆ち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)を担当</li> </ul>	
<small>備考</small> 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成してください。 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容について事実と相違しないことを確認したことを証明してください。 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分又は告発の対象となり得ます。	
上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、令和〇年〇月に倒産した。	

- ・申請日を記入
- ・勤務先の名称のみを記入。  
・証明者の署名・押印は必要なし。
- ・勤務先(倒産前)の所在地、電話番号を記入。  
(所在地・電話番号が不明の場合は無記入でも構いません)
- ・「免許申請者との関係」も記入する必要なし。

**【記入例】**  
 上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。  
 ※倒産した日付が不明の場合、日付は記入不要。